

4 アンケート調査

みどりの基本計画策定に関する市民アンケート調査

4-1 調査の対象及び回収状況

4-1-1 方 法

調査地域：市内全域

実施対象：15才以上75歳以下の市民

抽出方法：年齢階層別、校区別無作為抽出

実施方法：郵送調査法（礼状兼督促状を1回発送）

調査期間：2016（平成28）年12月1日から2017（平成29）年1月10日

回収数および回収率は次のとおり。

配 布 数	回 収 数	回 収 率
2,000 件	702 件	35.1%

※前回調査（平成10年）の回収率は30.7%

4-1-2 見 方

- ・各選択肢の構成比（％）は少数点第2位以下を四捨五入している。このため、択一式の回答については構成比の合計が100%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、選択肢の構成比の合計が100%を超える場合がある。
- ・地域別で整理しているものは右図の地域で整理した。
- ・選択肢から1つ選択する設問については、2つ以上選んだ回答は無効とした。
- ・選択肢から設問で定められた数以下で選択する設問については、定められた選択肢の数より2つ以上多く選んだ回答は無効とした。

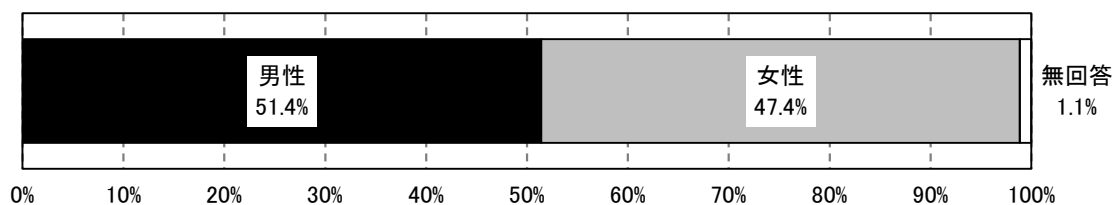


4-2 結果

1. あなた自身のことについて

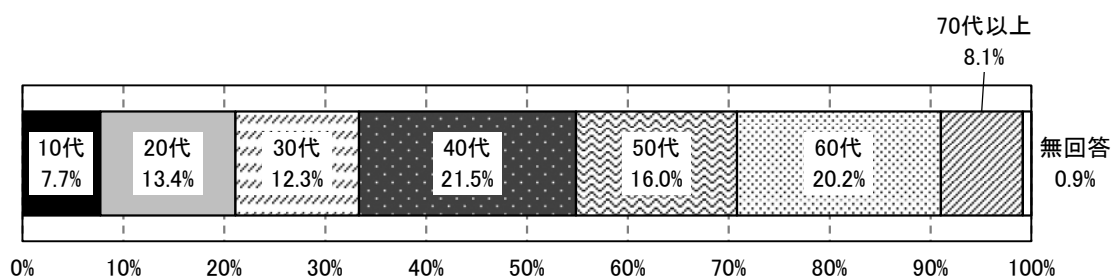
問 1-1 あなたの性別をお答えください。

回答者の性別は「男性」が 51.4%、「女性」が 47.4%でした。



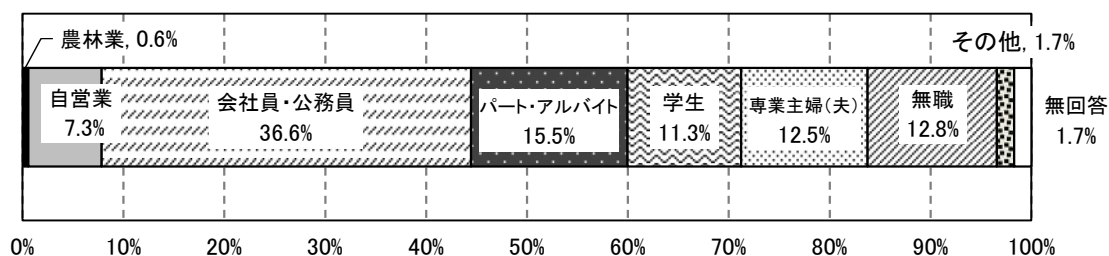
問 1-2 あなたの年齢（世代）をお答えください。

回答者の年齢（世代）は「40 歳代」が最も多く 21.5%、次いで「60 歳代」が 20.2%でした。



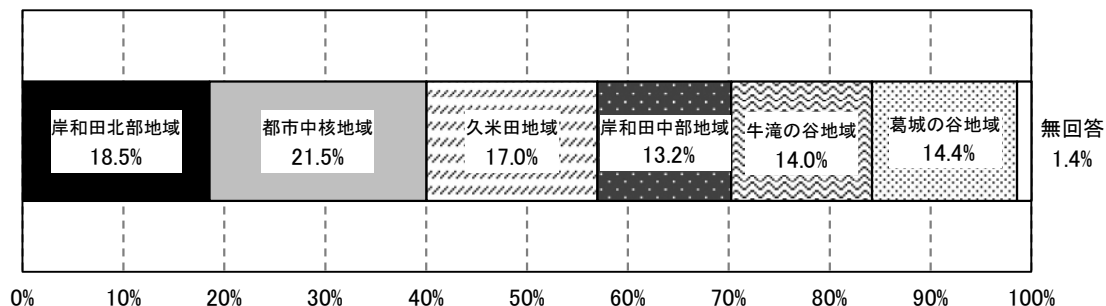
問 1-3 あなたの職業をお答えください。《1つだけ〇》

回答者の職業は「会社員・公務員」が最も多く 36.6%、次いで「パート・アルバイト」が 15.5%でした。



問 1-4 あなたのお住まいの地域を右図※よりお選び下さい。《1つだけ○》

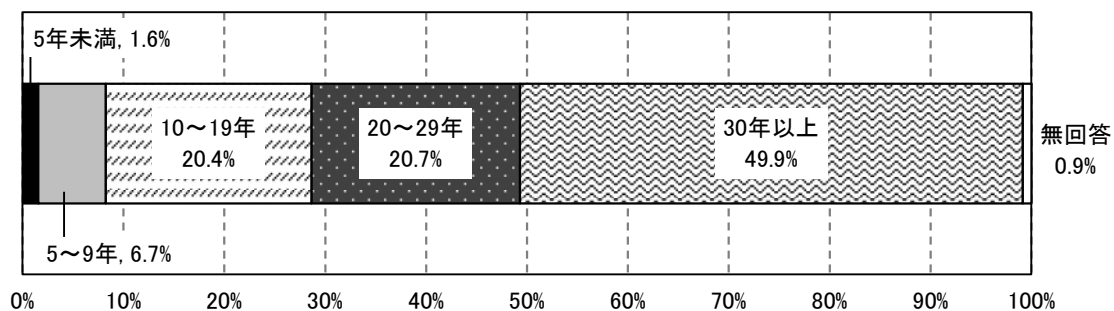
回答者の居住地域は「都市中核地域」が最も多く 21.5%、次いで「岸和田北部地域」で 18.5% でした。



※図は 1 頁に記載

問 1-5 あなたの岸和田市の居住歴をお答えください。《1つだけ○》

回答者の居住歴は、「30 年以上」が最も多く 49.9%、次いで「20～29 年」が 20.7% でした。

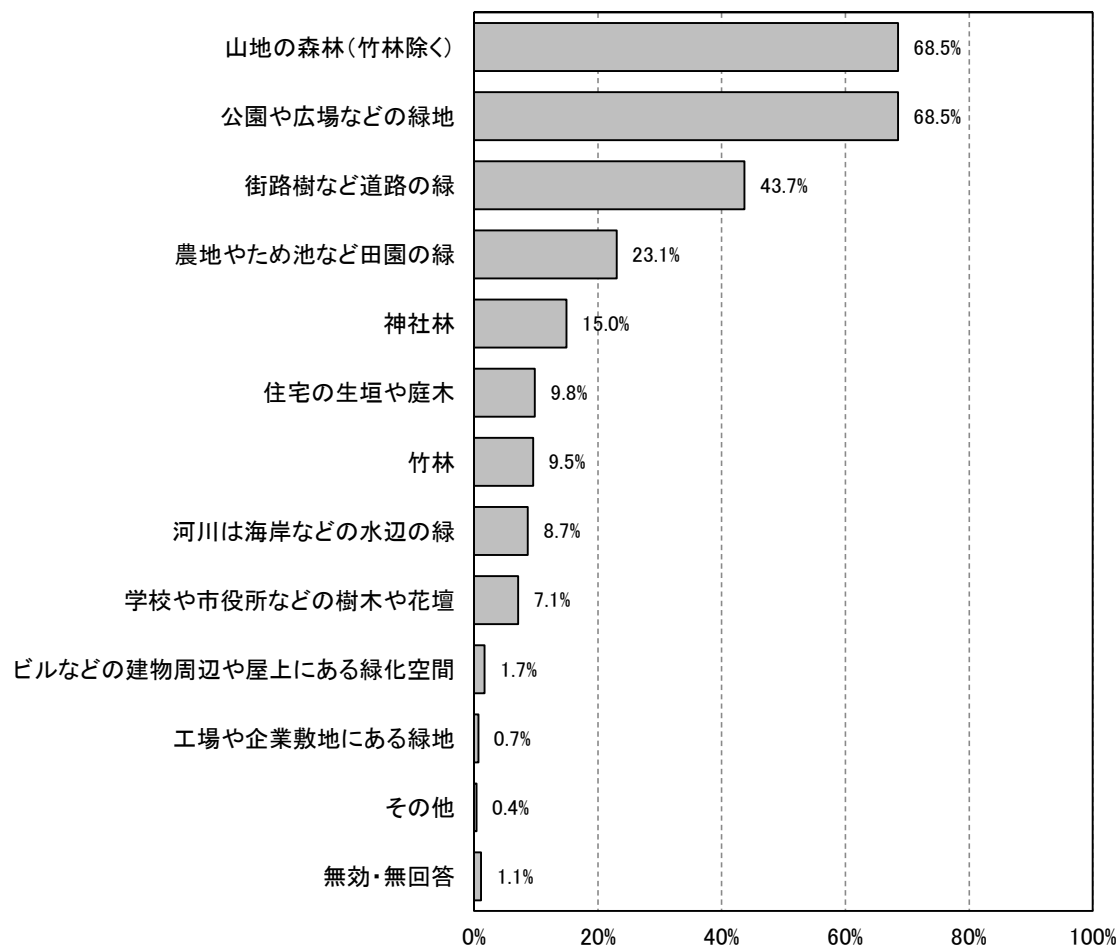


2. 岸和田市の「みどり」の現状について

問 2-1 あなたが「みどり」と聞いてイメージされるものは何ですか。《3つまで○》

【全体】

「みどり」と聞いてイメージするものは、「山地の森林」と「公園や広場などの緑地」が 68.5% で、次いで「街路樹など道路の緑」が 43.7%、「農地やため池など田園の緑」が 23.1%でした。



【地域別】

地域特有のみどりのイメージ（市平均より 10 ポイント以上高い回答があったみどり）が 3 地域で見られました。地域の環境の違いがみどりのイメージの違いにも表れていることがわかります。

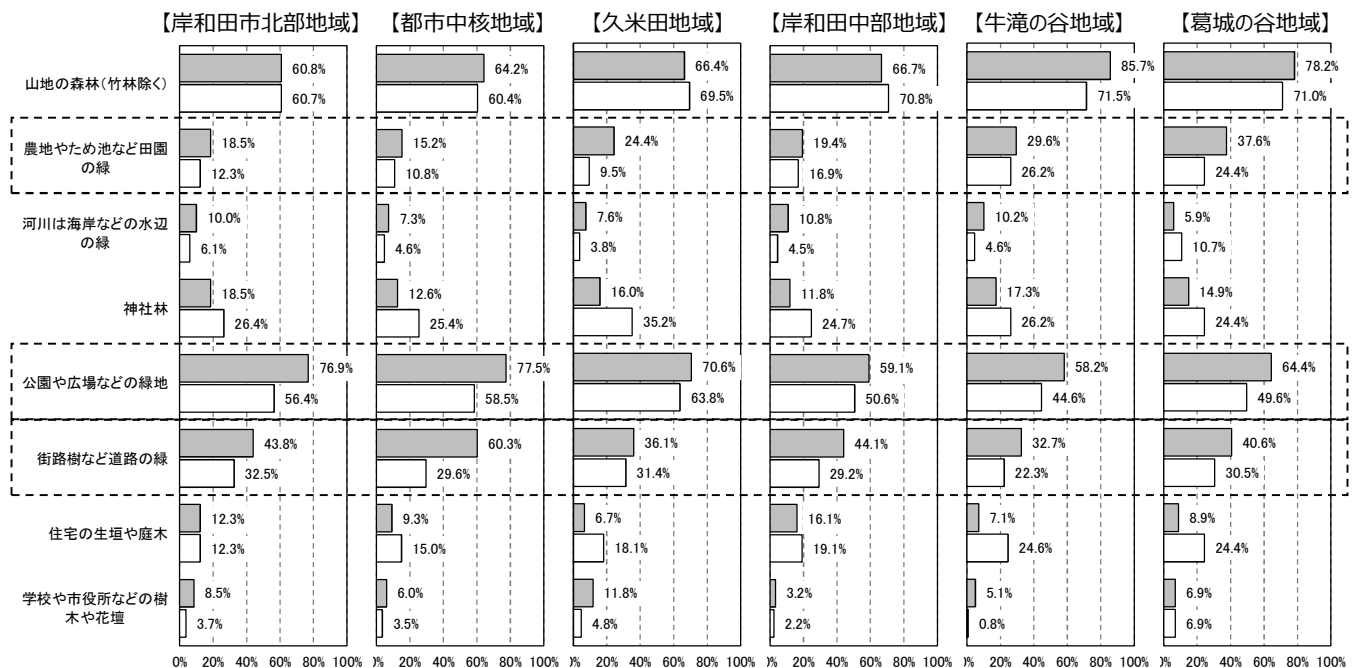
地域	10 ポイント以上高いみどり	10 ポイント以上低いみどり
都市中核地域	街路樹など道路の緑	—
牛滝の谷地域	山地の森林	公園や広場などの緑地 街路樹など道路の緑
葛城の谷地域	農地やため池など田園の緑	—

イメージするもの		計(市全体)		岸和田市北部地域		都市中核地域		久米田地域		岸和田中部地域		牛滝の谷地域		葛城の谷地域		無回答	
		回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率	回答数	回答率
1	山地の森林(竹林除く)	481	68.5%	79	60.8%	97	64.2%	79	66.4%	62	66.7%	84	85.7%	79	78.2%	1	10.0%
2	竹林	67	9.5%	7	5.4%	9	6.0%	13	10.9%	8	8.6%	17	17.3%	13	12.9%	0	0.0%
3	農地やため池など田園の緑	162	23.1%	24	18.5%	23	15.2%	29	24.4%	18	19.4%	29	29.6%	38	37.6%	1	10.0%
4	河川は海岸などの水辺の緑	61	8.7%	13	10.0%	11	7.3%	9	7.6%	10	10.8%	10	10.2%	6	5.9%	2	20.0%
5	神社林	105	15.0%	24	18.5%	19	12.6%	19	16.0%	11	11.8%	17	17.3%	15	14.9%	0	0.0%
6	公園や広場などの緑地	481	68.5%	100	76.9%	117	77.5%	84	70.6%	55	59.1%	57	58.2%	65	64.4%	3	30.0%
7	街路樹など道路の緑	307	43.7%	57	43.8%	91	60.3%	43	36.1%	41	44.1%	32	32.7%	41	40.6%	2	20.0%
8	住宅の生垣や庭木	69	9.8%	16	12.3%	14	9.3%	8	6.7%	15	16.1%	7	7.1%	9	8.9%	0	0.0%
9	学校や市役所などの樹木や花壇	50	7.1%	11	8.5%	9	6.0%	14	11.8%	3	3.2%	5	5.1%	7	6.9%	1	10.0%
10	ビルなどの建物周辺や屋上にある緑化空間	12	1.7%	3	2.3%	1	0.7%	5	4.2%	1	1.1%	2	2.0%	0	0.0%	0	0.0%
11	工場や企業敷地にある緑地	5	0.7%	1	0.8%	1	0.7%	2	1.7%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
12	その他	3	0.4%	1	0.8%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%
—	無効	2	0.3%	0	0.0%	1	0.7%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.0%	0	0.0%	0	0.0%
—	無回答	6	0.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	5	50.0%
計		1,811	258.0%	336	258.5%	394	260.9%	305	256.3%	225	241.9%	262	267.3%	274	271.3%	15	150.0%
n=		702		130		151		119		93		98		101		10	

※黒色背景に白文字の項目は回答率が市平均より 10 ポイント以上高い項目
灰色背景に太文字の項目は回答率が市平均より 10 ポイント以上低い項目

【経年変化】

前回調査（平成 10 年実施）と選択肢の表現は異なりますが、表現に近いものについてはその割合を比較したところ、「農地やため池など田園の緑」、「公園や広場などの緑地」、「街路樹など道路の緑」が久米田地域を除いて、前回調査 より 10 ポイント以上増加しました。



問2-2 岸和田市の誇りに思えるもしくは、好きな「みどり」を例にならって具体的に3つまでご記入ください。

岸和田市の誇りに思えるもしくは、好きな「みどり」について尋ねたところ、場所別では蜻蛉池公園が最も多く、次いで中央公園、久米田池・久米田寺周辺が続きました。それぞれの対象としては「蜻蛉池公園の桜」、「中央公園の樹木（桜以外）」、「久米田寺・久米田寺周辺の樹木」などが挙げられていました。

場 所	件数
蜻蛉池公園	224 件
中央公園	198 件
久米田池・久米田寺周辺	178 件
岸和田城周辺	123 件
牛滝山	96 件
葛城山	67 件
神於山	41 件

対 象	件数
・記載なし	51 件
・桜	42 件
・みどり	30 件
・樹木（桜以外）	77 件
・記載なし	33 件
・みどり	24 件
・桜	22 件
・樹木	122 件
・記載なし	17 件
・桜	64 件
・樹木（桜以外）	14 件
・紅葉	21 件
・樹木（ブナ）	18 件
・森林	18 件
・記載なし	14 件
・森林（ブナ）	51 件
・森林	16 件

		対象									
		全体	桜	樹木 (桜・ブナ以外)	緑	ブナ	森林 (ブナ以外)	周 辺・ 全体	紅葉	それ 以外	記載 なし
場 所	全体	1200	303	159	91	71	63	54	33	257	169
	蜻蛉池公園	224	42	10	31	0	5	16	0	69	51
	中央公園	198	22	77	24	0	10	9	5	18	33
	久米田池・ 寺周辺	178	122	5	1	0	0	13	0	20	17
	岸和田城 周辺	123	67	14	5	0	1	10	0	18	8
	牛滝山	96	1	0	0	18	18	3	21	21	14
	葛城山	67	0	0	0	51	0	0	1	9	6
	神於山	41	1	0	3	0	16	0	1	14	6
	それ以外	273	48	53	27	2	13	3	5	88	34

※網掛けは各場所の内、「それ以外」、「記載なし」を除外して最も多かった内容

【経年変化】

前回調査（平成 10 年実施）と回答を比較すると、蜻蛉池公園、中央公園、神於山では増加し、特に中央公園では 10 ポイント以上増加しました。一方、久米田池、岸和田場周辺、牛滝山、葛城山では減少し、特に葛城山は 20 ポイント以上低下しました。

場 所	平成 10 年	平成 28 年
蜻蛉池公園	12.4%	18.7%
中央公園	6.4%	16.5%
久米田池	17.0%	14.8%
岸和田城周辺	11.8%	10.3%
牛滝山	15.2%	8.0%
葛城山	27.9%	5.6%
神於山	1.3%	3.4%

※回答した総数に対する割合

問 2-3 岸和田市の好ましくないもしくは、放置しておけないと思われる「みどり」を前設問の回答様式にならって具体的に3つまでご記入ください。

岸和田市の好ましくないもしくは、放置しておけないと思われる「みどり」について尋ねたところ、特定の場所では国道 26 号が最も多く、次いで春木川、中央公園、津田川が続きました。場所を特定しないものでは道路が最も多く、次いで公園、空き家・空き地が挙げられていました。また具体的な対象としては雑草が最も多く、次いで街路樹、樹木がありました。

特定の場所	件数
国道 26 号 (旧国道 26 号)	20 件
春木川	18 件
中央公園	11 件
津田川	11 件
牛滝川	10 件
浜工業公園	10 件

非特定場所	件数
道路	37 件
公園	19 件
空家・空き地	17 件
山	11 件

対象	件数
雑草	80 件
街路樹	39 件
樹木	39 件
ゴミ	27 件
管理が不十分	25 件
緑	20 件
竹林	18 件

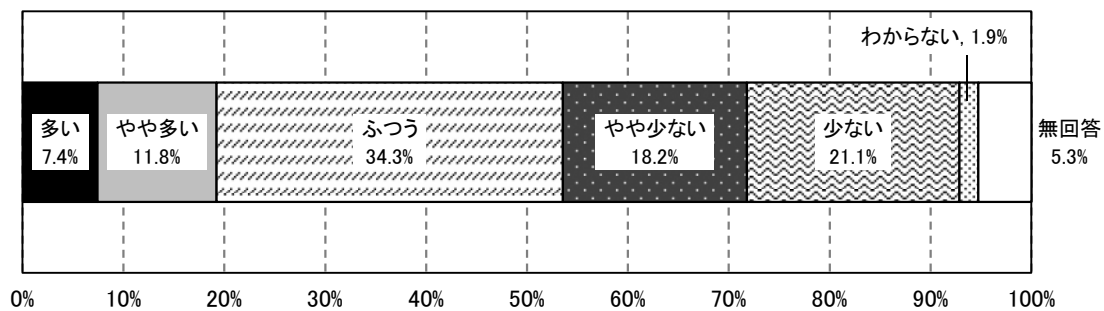
			対象								
		全体	雑草	街路樹	樹木	ゴミ	管理が 不十分	緑	竹林	それ 以外	記載 なし
	全体	366	80	39	39	27	25	20	18	91	27
特定の場所	国道 26 号	20	2	17	0	1	0	0	0	0	0
	春木川	18	3	2	0	0	0	0	0	8	5
	中央公園	11	0	0	5	0	0	0	0	4	2
	津田川	11	7	0	0	0	0	1	0	1	2
	牛滝川	10	0	0	1	2	0	0	0	4	3
	浜工業公園	10	1	0	2	0	2	0	0	3	2
非特定場所	道路	37	16	7	3	5	1	1	2	2	0
	公園	19	10	0	1	2	4	0	0	2	0
	空家・ 空き地	17	10	0	0	0	4	0	0	3	0
	山	11	0	0	0	5	0	0	1	5	0
上記以外		202	31	13	27	12	14	18	15	46	13

3. あなたがお住まいの地域の「みどり」について

【全体】

問3-1 あなたがお住まいの地域の「みどり」の量はいかがですか。《1つだけ〇》

回答者の居住地域のみどりの量については、「少ない」と「やや少ない」と感じる人の割合の合計が39.3%と、「多い」、「やや多い」の合計の19.2%の約2倍でした。

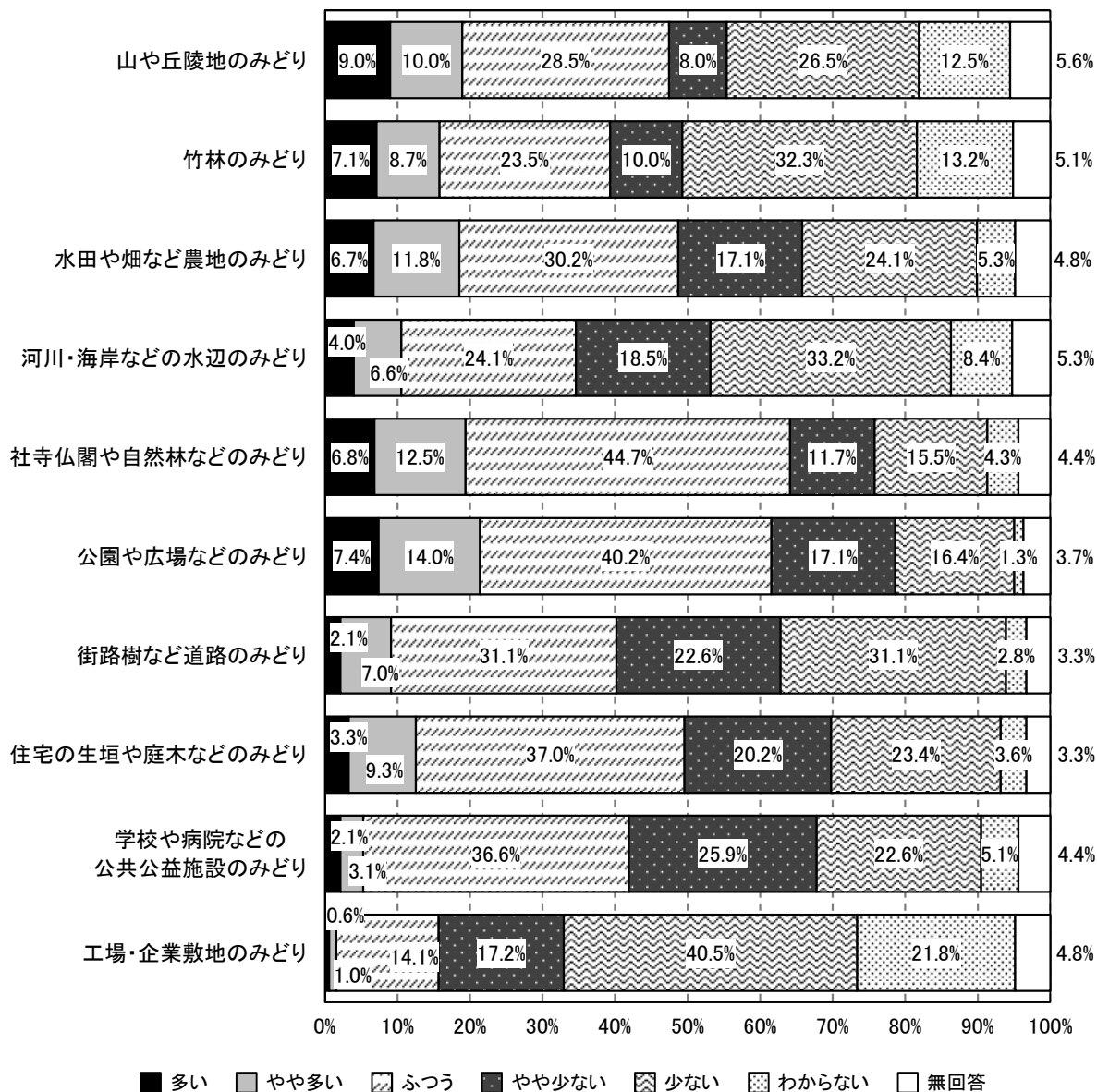


問 3-2 あなたがお住まいの地域の今の「みどり」の量はいかがですか。

《それぞれについて1つだけ○》

「多い」、「やや多い」の合計が 15%以上となっていたみどりとしては、『公園や広場などのみどり』(21.4%)、『社寺仏閣や自然林などのみどり』(19.3%)、『山や丘陵地のみどり』(19.0%)、『水田や畑など農地のみどり』(18.5%)、『竹林のみどり』(15.8%) が挙げられました。

市民が「みどり」と聞いてイメージするみどりの第3位であった「街路樹などの道路のみどり」について、「多い」、「やや多い」の合計は 9.1%にとどまり、53.7%の人が「少ない」、「やや少ない」と回答されていました。

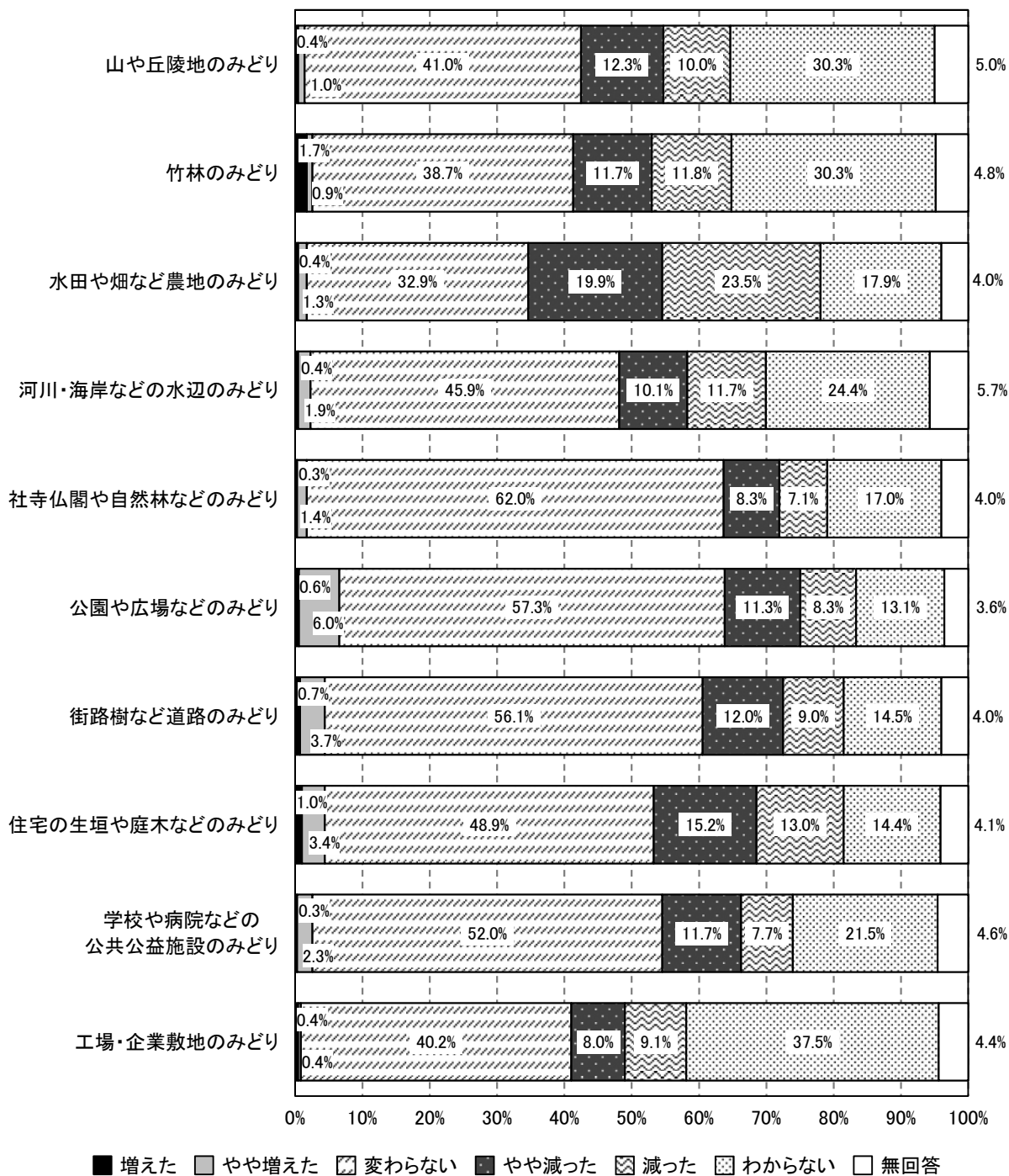


問 3-3 あなたがお住まいの地域の「みどり」の量は変化していますか。

《それぞれについて1つだけ○》

『水田や畑などの農地のみどり』では「減った」、「やや減った」の合計が 43.4%と、他のみどりに比べて 20 ポイント近く高い結果となっていました（同意見で次に多いのが『住宅の生垣や庭木などのみどり』の 28.2%）。耕作地面積は減少しており、それを市民も感じ取っていることがうかがえます。

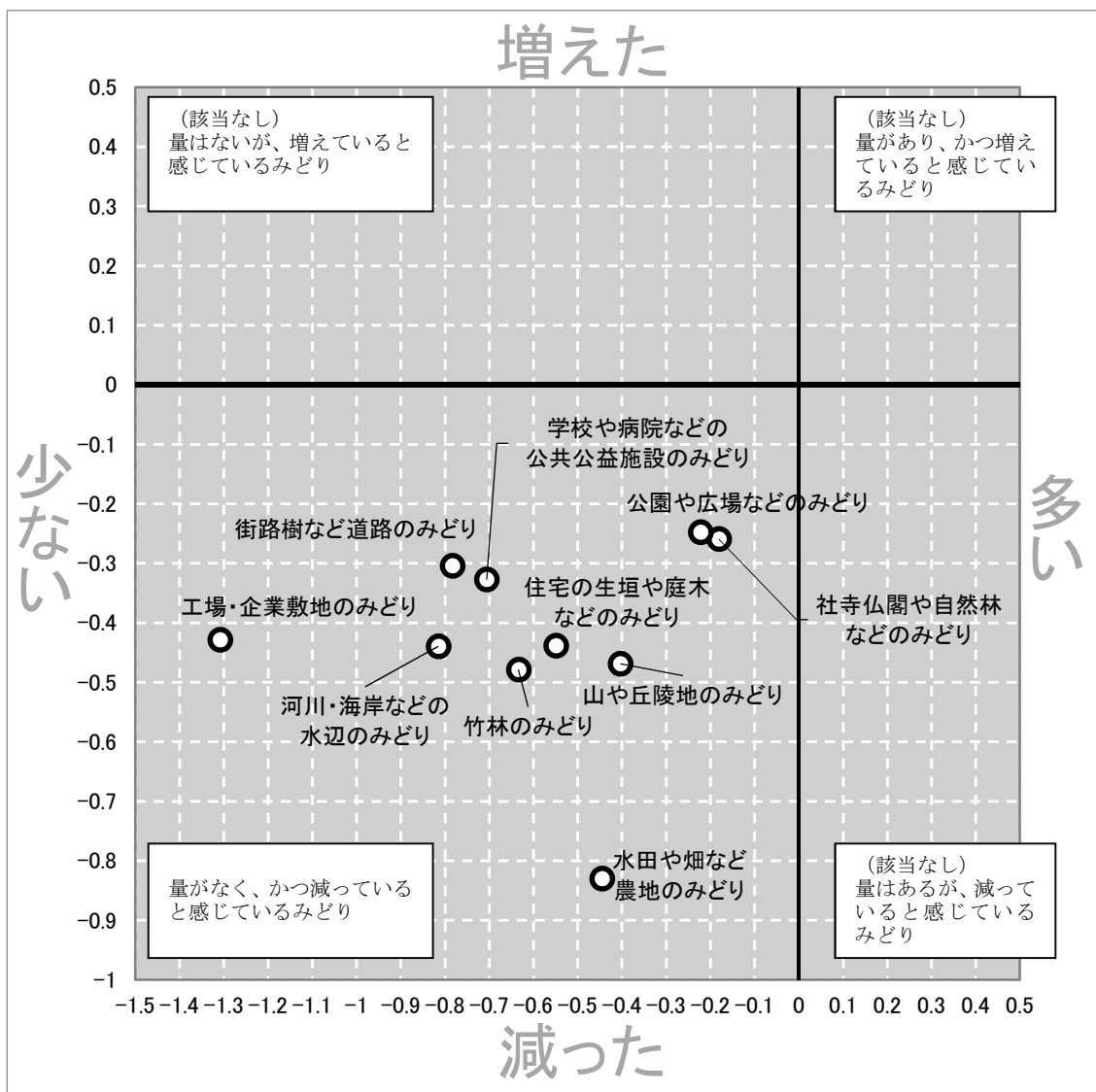
「増えた」、「やや増えた」と回答のあったみどりはわずかでしたが、その中で最も回答が多かったのは『竹林のみどり』であり、合計して 1.7%でした。



問 3-2 と問 3-3 については選択肢ごとに下記の点数をつけて回答数で割り戻した指標として整理しました。

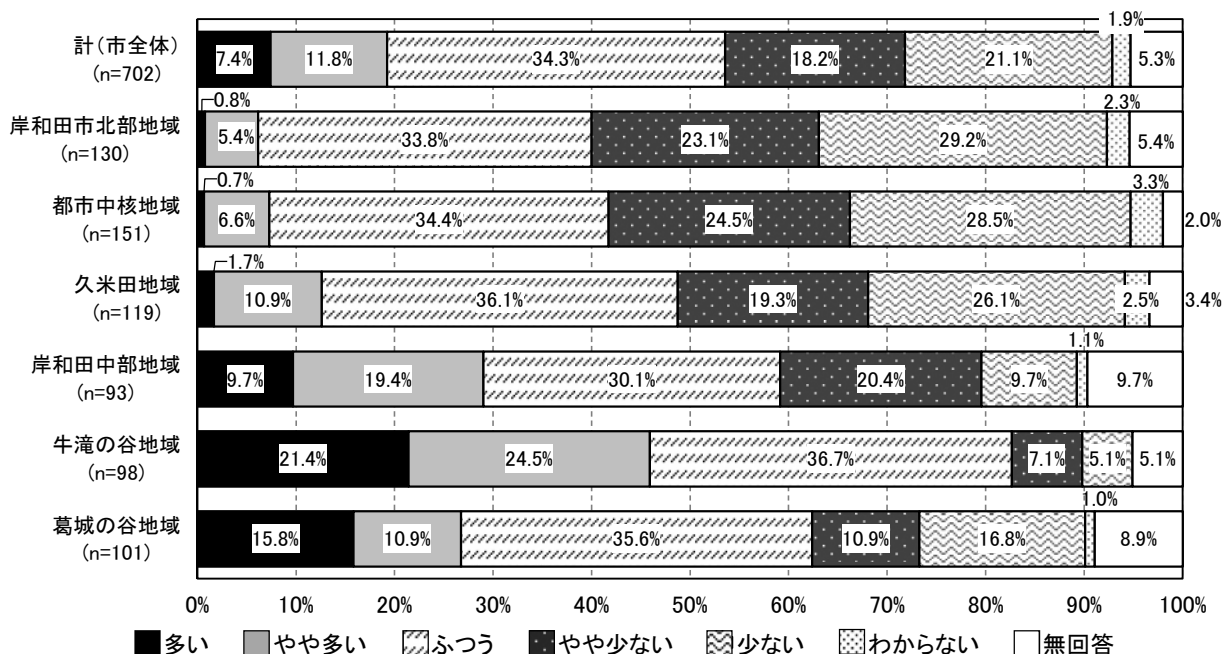
点数化	+2 点	+1 点	-1 点	-2 点
問 3-2 今のみどりの量	多い	やや多い	やや少ない	少ない
問 3-3 みどりの量の変化	増えた	やや増えた	やや減った	減った

すべてのみどりについて「少なくかつ減っている」と感じており、特に農地のみどりが減っていると感じていることがわかります。



【地域別】

問 3-1 と問 3-2 を地域別に集計すると、住んでいる地域のみどりが「少ない」、「やや少ない」と感じる人の割合は特に都市中核地域と岸和田市北部地域、久米田地域の 3 地域で高く、45.4～53.0%に達しました。みどりの種別では都市中核地域で自然のみどりの少なさが顕著（市全体より 10 ポイント差）に表れていました。一方、牛滝の谷地域、葛城の谷地域及び岸和田市中部地域ではみどりが多いという回答が多くみられました。

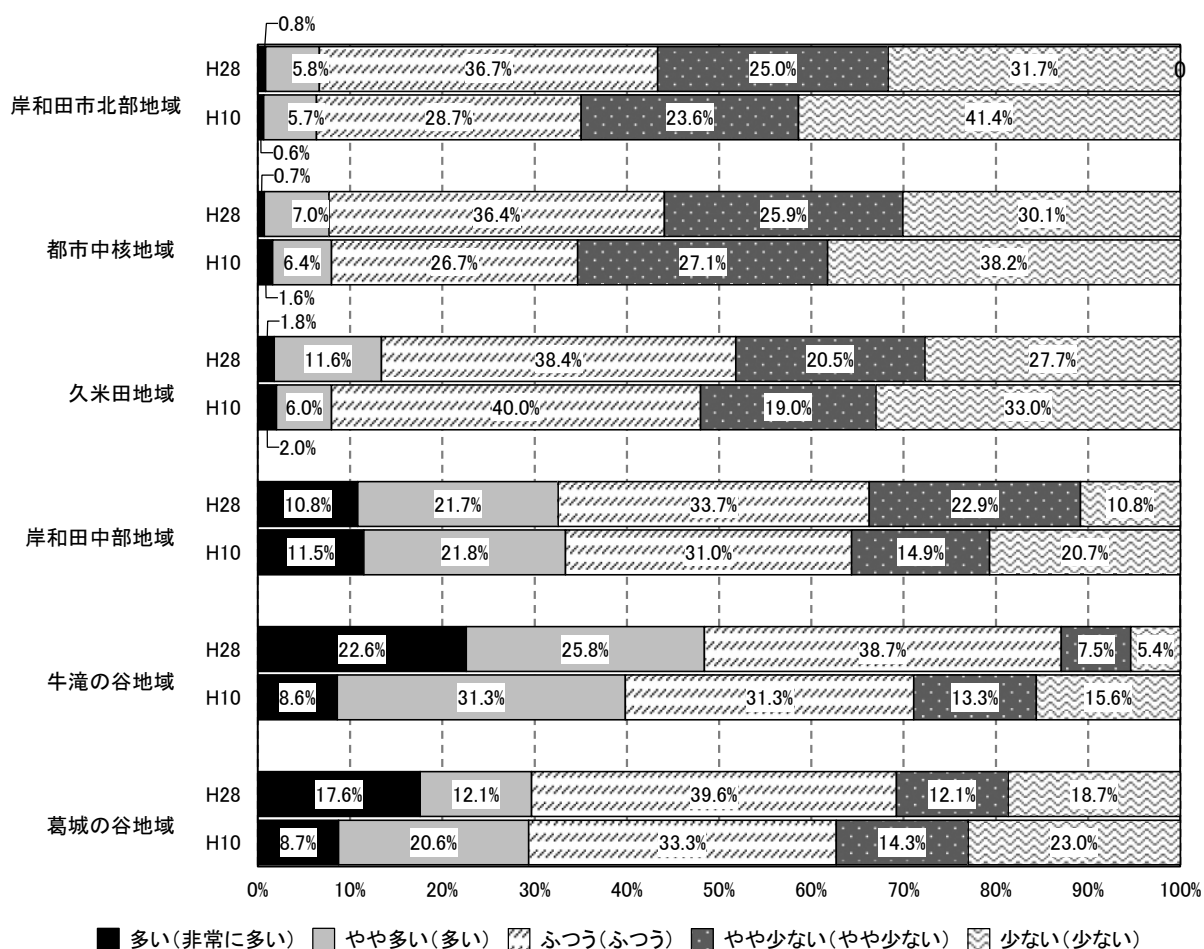


地域	「多い」、「やや多い」の回答が市全体より 10 ポイント以上高いみどり	「少ない」、「やや少ない」の回答が市全体より 10 ポイント以上高いみどり
岸和田市北部地域	—	—
都市中核地域	—	山や丘陵地のみどり 竹林のみどり 水田や畑など農地のみどり 河川・海岸などの水辺のみどり
久米田地域	—	—
岸和田市中部地域	竹林のみどり	—
牛滝の谷地域	山や丘陵地のみどり 竹林のみどり 水田や畑など農地のみどり 河川・海岸などの水辺のみどり 神社仏閣や自然林などのみどり	—
葛城の谷地域	山や丘陵地のみどり、 水田や畑など農地のみどり	—

【経年変化】

問 3-1 を前回調査（平成 10 年実施）と選択肢の表現は異なりますが、それぞれ 5 段階選択のため、その割合を比較したところ、みどりが「多い」、「やや多い」とする割合は牛滝の谷地域では 39.9%から 48.4%に増加しました。他の地域ではほぼ同じとなりました。

みどりの量が少ないとする回答はすべての地域で減少しています。ですが、みどりが少ないと感じる割合は減少したものの、牛滝の谷を除いて多いと感じるほどにはみどりが増えていないことがうかがえます。



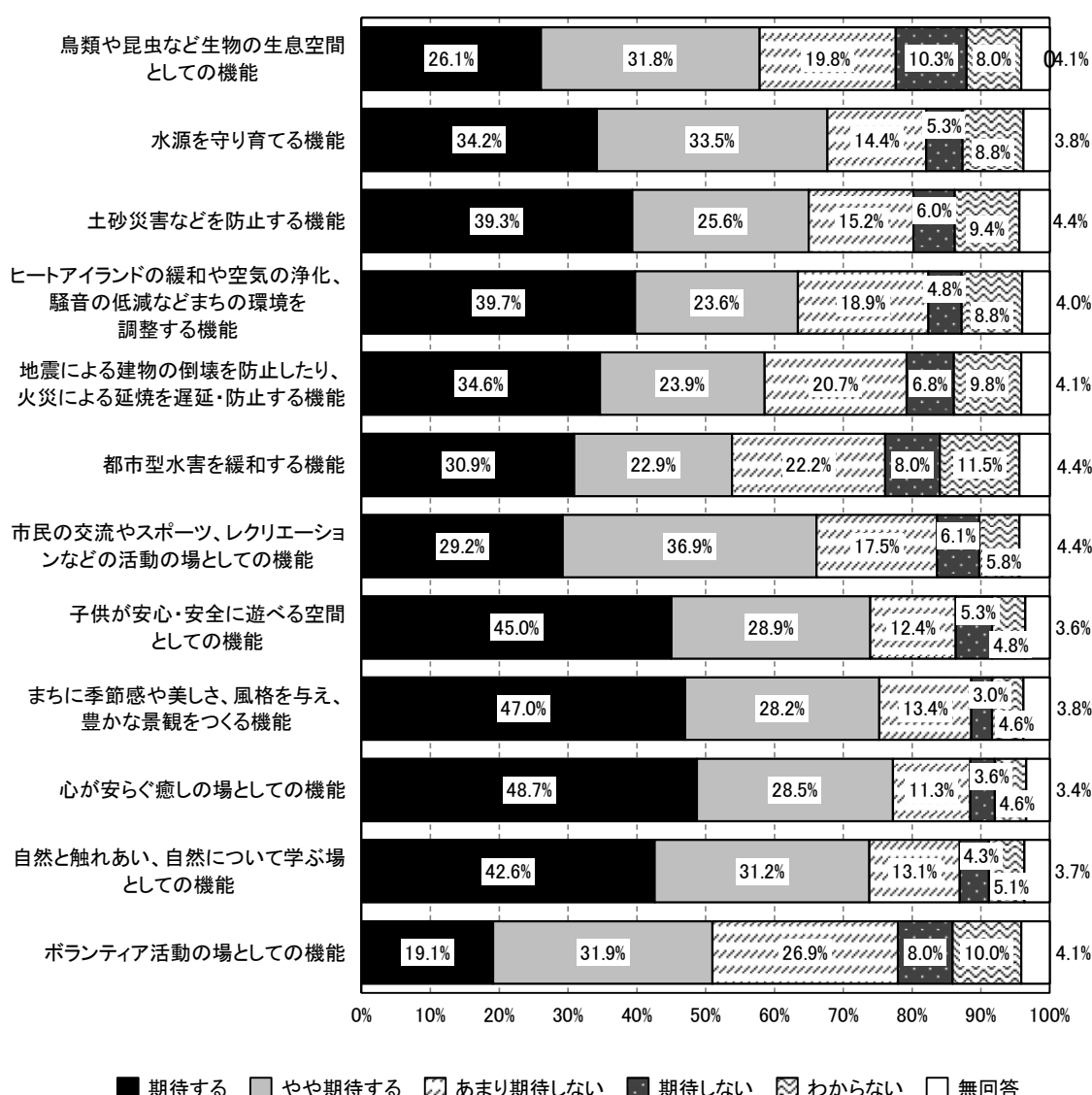
※凡例の()はH10調査時の選択肢

4. 「みどり」の機能について

問 4-1 岸和田市の「みどり」の機能についての次の各項目についてどう思いますか。
《それぞれについて1つだけ○》

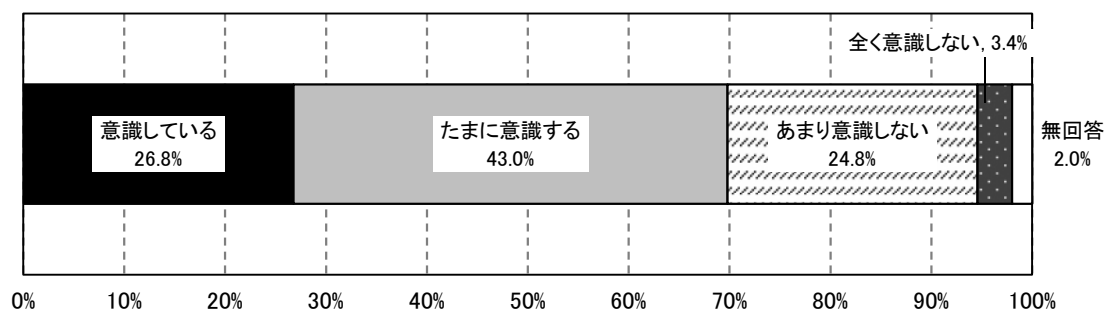
みどりの機能はすべての項目で「期待する」、「やや期待する」の合計が50%を上回り、みどりに対する市民の期待は大きいことがうかがえます。

みどりの機能そのもの（生物生息空間、水源涵養、ヒートアイランド緩和、騒音低減、防災）が53.8～67.7%であるのに対し、みどりがあることで生活や社会に潤いをあたえてくれるといった機能（レクリエーションの場、子供が安心して遊べる空間、豊かな景観、癒し、自然との触れ合い）が66.1～77.2%と総じて高くなっており、みどりによって自分達の生活の質が豊かになることを期待していると考えられます。



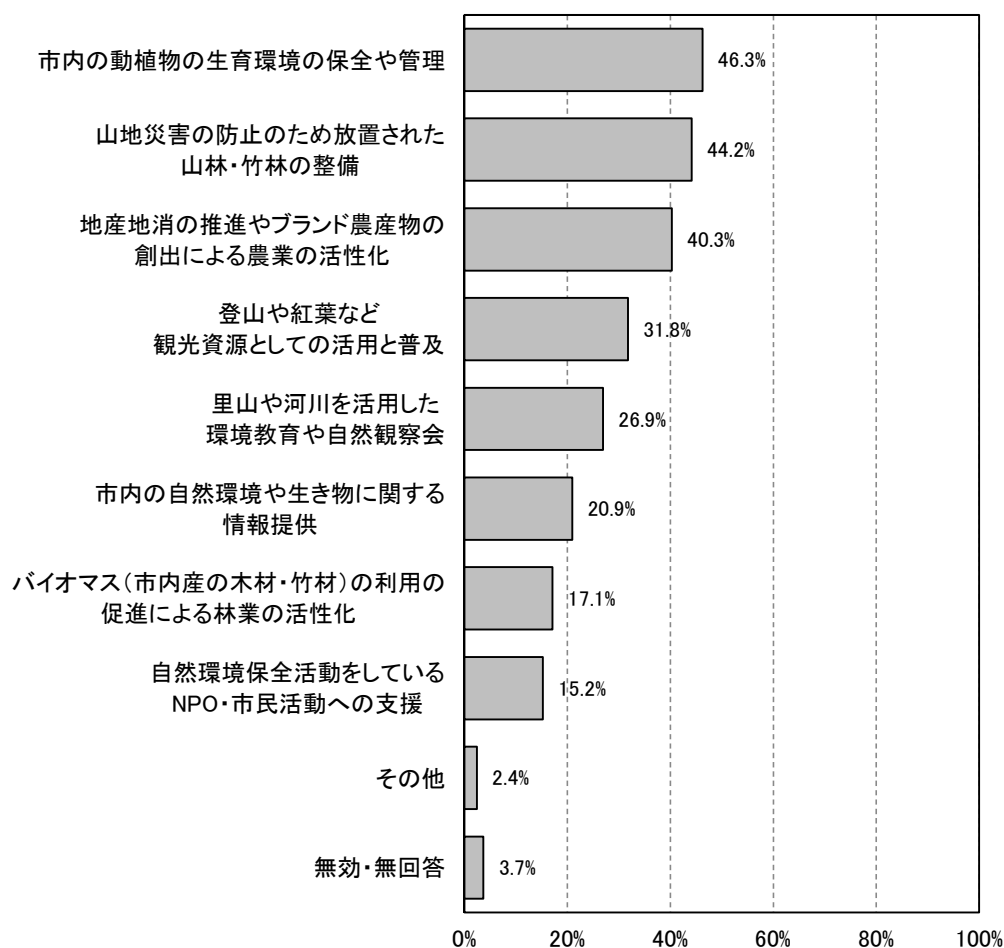
問 4-2 私たちは、海や田畑から食材を、山から木材など日々の暮らしの中で生物多様性が提供するさまざまな自然の恵み（生態系サービス）を受けています。あなたは、このようなことを暮らしの中で意識することはありますか。《それぞれについて 1 つだけ○》

自然の恵み（生態系サービス）を「意識している」、「たまに意識する」と回答した割合の合計は 69.8%に達しています。



問 4-3 さまざまな自然の恵みをもたらす生物多様性を保全するために、岸和田市ではどのような取り組みが必要だと思いますか。《最大 3 つに〇》

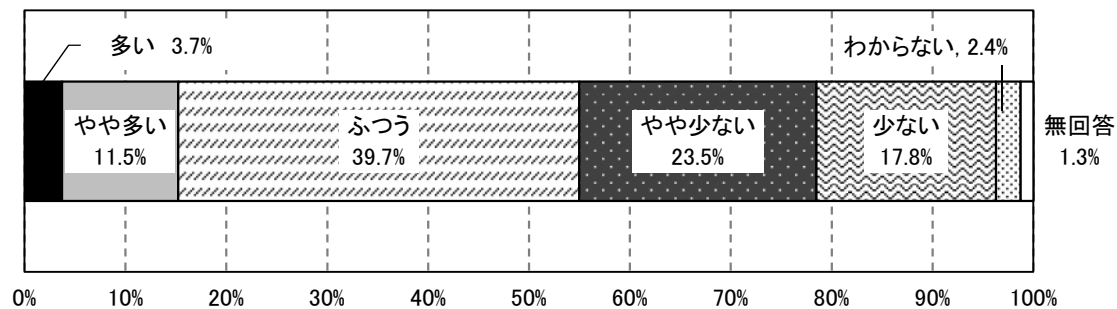
自然の恵みをもたらす生態系サービスを保全するために必要な取り組みとしては、「市内の動植物の生育環境の保全や管理」、「山地災害の防止のため放置された山林・竹林の整備」、「地産地消の推進等による農業の活性化」で 40%を上回る回答がありました。



5. 身近な公園などの緑地について

問 5-1 身近な公園・緑地の数についてどう思いますか。《1つだけ〇》

身近な公園や緑地の数について「多い」、「やや多い」と感じている回答の合計は 15.2%にとどまり、「少ない」、「やや少ない」の割合の合計である 41.3%の半分以下でした。



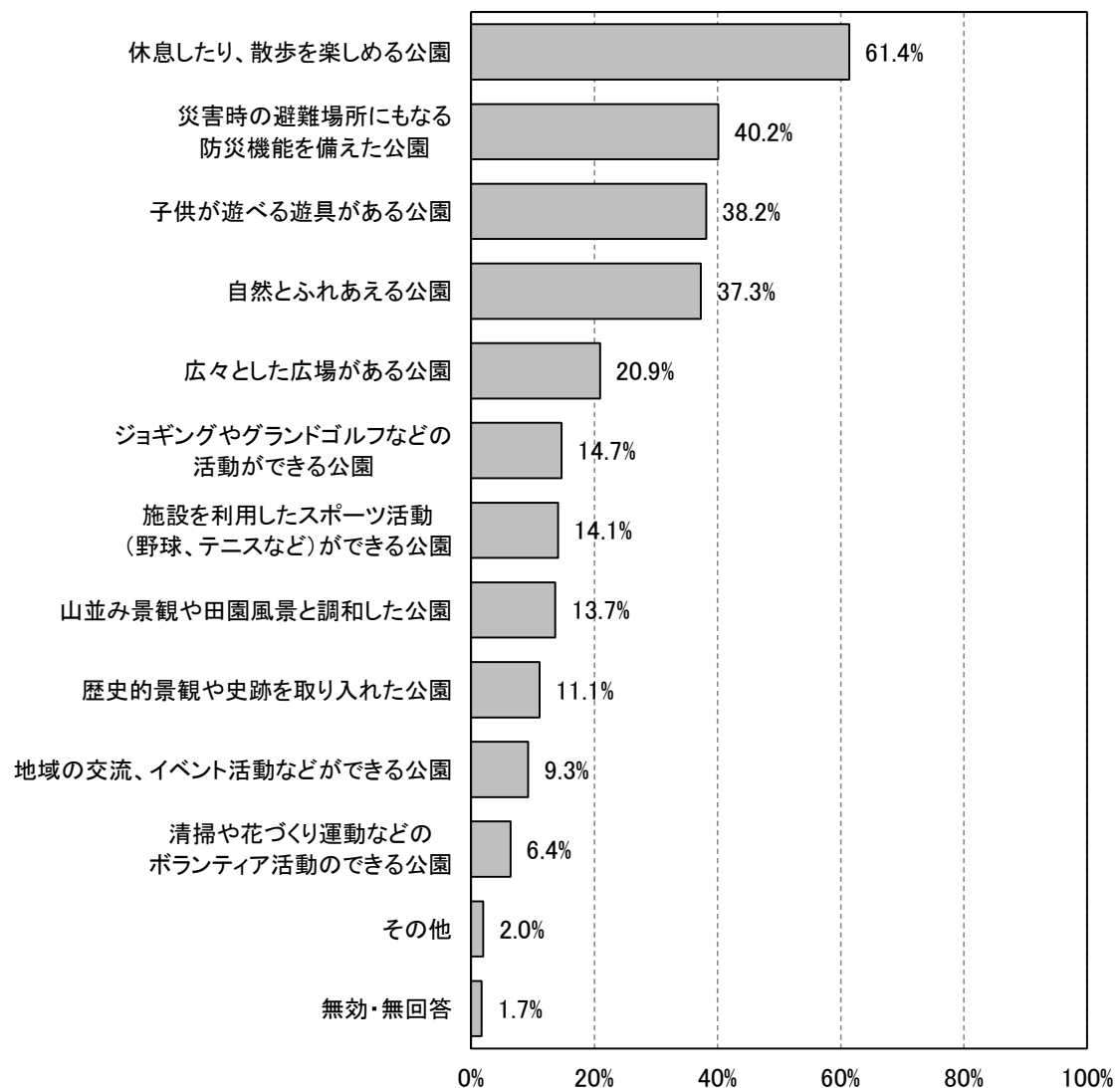
問5-2 あなたは、今後、どのような公園などが増えていけばよいとお考えですか。
大3つに〇

《最

増えていけばよいと考える公園の種類は回答の多い上位3つの公園（「休憩したり、散歩を楽しめる公園」「災害時の避難場所にもなる防災機能を備えた公園」「子どもが遊べる遊具がある公園」）はいわゆる日常的に利用しやすい公園でした。

運動できる公園（「広々とした広場がある公園」「ジョギングやグランドゴルフなどの活動ができる公園」「施設を利用したスポーツ活動ができる公園」）も14.1%～20.9%と一定のニーズが確認されました。

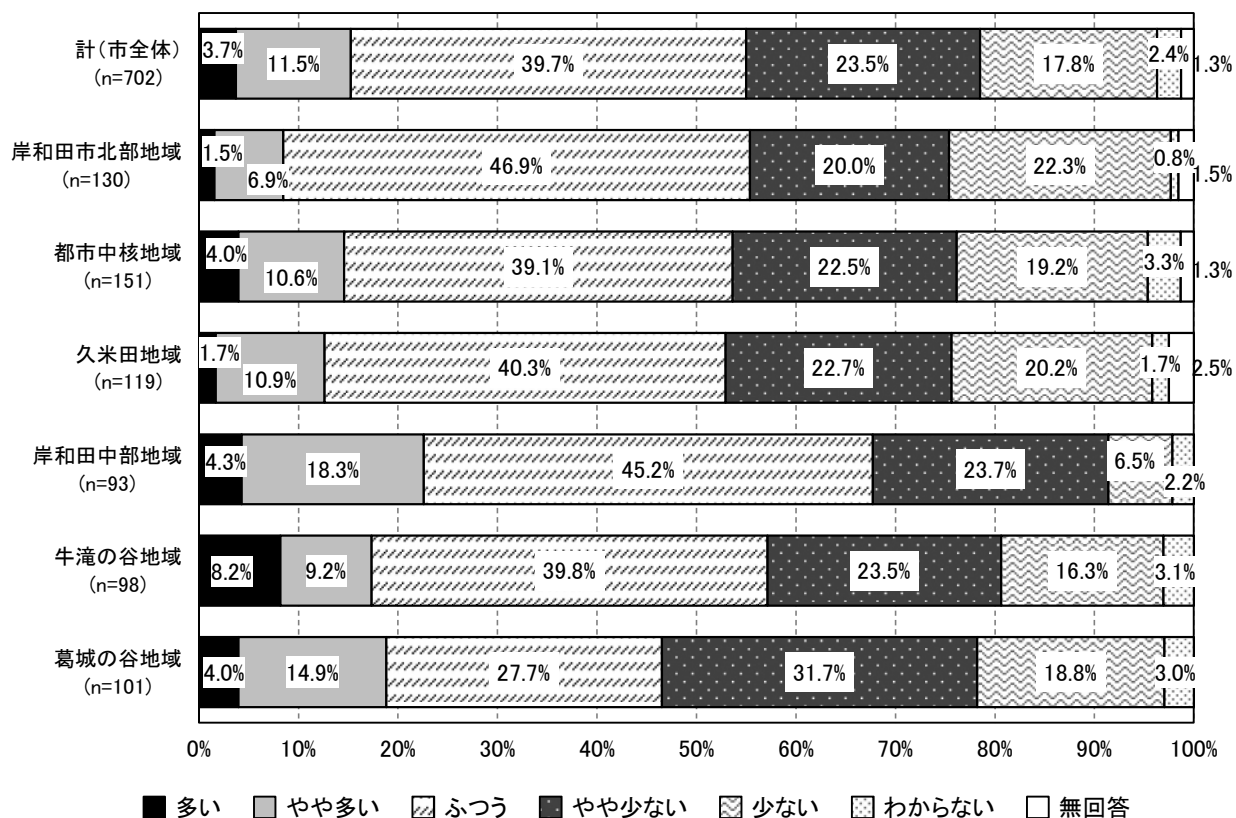
「清掃や花づくり運動などのボランティア活動ができる公園」も6.4%の回答がありました。公園管理のニーズがあると考えられます。



【地域別】

問 5-1 を地域別に集計すると、身近な公園や緑地の量を「多い」、「やや多い」と感じている人の割合は岸和田市北部地域で 8.4%と最も低く、岸和田市中部地域の同 22.6%の半分以下となっていました。

また「多い」、「やや多い」の割合が 18.9%と比較的高かった葛城の谷地域では、「少ない」、「やや少ない」の割合も高く、50.5%ありました。



6. みどりの管理などについて

問 6-1 問 2-2、2-3でも好ましいあるいは好ましくないなどのみどりについての具体例をお聞きしましたが、ここまでの設問でお答え頂いたみどりの機能やあなたが必要と思われる公園などを踏まえ、みどりの現状に対する管理状況やちょっとした工夫により、みどりが活かされるのではといったご意見などあれば自由にご記入ください。

みどりの管理などに関する意見では、公園や緑の管理に関する意見が多く見られました。代表的な内容は以下の通りです。

内 容	件数	代表的な意見
公園について	57 件	・公園の管理が出来ていない。雑草が伸び放題で、トイレやゴミ箱の汚さも目立つ。街灯をもう少し増やしてほしい。 ・公園にみどりを増やしては欲しいが、管理が必要。<u>管理不足のみどりと管理されているみどりでは別物</u>である。 ・公園のゴミの管理状況が気になる。ゴミがあると緑や紅葉がくすんでしまう。 ・浜工業公園は手入れされているので感心する。緑が多いだけでなく日頃の手入れが大事。 ・トンボ池公園はきれいに手入れができていて良い。
みどりの管理について	47 件	・樹木を植えて、<u>みどりの多い街</u>にしてほしい。<u>みどりの現状維持、管理不足にならないように</u>努めてもらいたい。 ・岸和田城周辺の桜は毎年きれいで、他の市の人も来ており、<u>とても誇らしいもの</u>だと思う。 ・竹林が切られ、日陰が減り暑い時期に涼む所がなく残念。共存できる管理を指導してほしい。 ・会社の活動で山にある竹林を整備している。このような取り組みが広がることで放置された山林がよみがえり、また、地域の交流も深めることができる。 ・<u>久米田寺や池周辺は環境整備がなされ、市民に慕われる場</u>として機能している。工夫が感じられるので、今後も期待している。 ・道沿いの荒れた竹林や雑草が生い茂った川沿いなど<u>管理が不足の場所</u>はゴミの不法投棄場所になりやすい。地域のボランティアを集り清掃活動の数を増やすなど改善できないか。
みどりの環境づくりについて	26 件	・<u>耕作放棄地のみどりが増えて</u>いる。耕作放棄地に住宅を建てられる様にしてほしい。 ・市内各所で<u>四季折々に自慢できる名所</u>と言われる草花、樹木が見られる場所があれば、<u>市民としては癒され</u>、観光地として岸和田市はプラスになる。 ・近隣にも自然の豊かな地域があり、岸和田市自体も海、山両方を楽しめる恵まれた環境にあると思う。この地の利を有効に活用し、近隣地域の恩恵を最大限に活かし、泉州全体で理想を叶えるような取り組みを提案してみてもどうか。 ・とんぼ池付近の樹木が減ってしまい、岸和田の風情がなくなってしまった。 ・<u>空き地等に植木などをして有効活用を。</u>

内 容	件数	代表的な意見
みどりの意識啓発について	18 件	・ボランティアの方が道路沿いに花や木を植え、いつも手入れをしている。<u>ボランティアの頑張りが見えるイベントや広報のページがあってもいいのではないか。</u> ・<u>住民一人ひとりの意識が大切。</u>どんな環境の中で住み続けたいかと考えれば、「みどり」はあった方がよい。 ・地域単位で意識向上を図る。ボランティア等に管理のお願いと行政の応援が必要。 ・中央公園は行き届いた管理をされている。行政だけではなく市民参加型の清掃活動やリクリエーションなどもっとすべきではないか。 ・<u>自然環境を育て、子供たちに大切さを授業で教えて欲しい</u>
緑化について	18 件	・岸和田市にある植物を残して整備をすればよい。 ・<u>春木川の岸辺に樹木があれば殺風景でなくなると思う。</u> ・街路樹をもっと増やして、道並みが良くなれば、他からの転入者も増える。<u>街を美しくし管理すれば、治安も良くなり市民の意識も変わる。</u> ・山間に道が通り、山や竹林を切り開きしているのをよく見る。動植物の生育環境は大丈夫なのかと心配である。 ・休耕田を緑地化する。 ・<u>みどりを増やすと鳥や虫が増えないか心配</u>である。また山から獣が下りてくるのが怖い。 ・住宅建築などのために畑や田んぼが消え、必然的にみどりがなくなってしまう。<u>うまく共存できるよう工夫が必要。</u>
街路樹について	17 件	・<u>道路わきの植木や雑草が伸び放題</u>でイメージが悪い。 ・緑が少ない為か、車の排気ガスの臭いがひどい。もっと街路樹があれば改善されるのではないか。 ・街路樹の剪定時期が遅れているため枝葉が伸び、見通しが悪いので安全性に問題があるので管理は必要。 ・街路樹の手入れがあまりされておらず、ゴミが捨てやすくなっているので、しっかり管理をしてほしい。
河川について	8 件	・清掃を徹底して欲しい。せつかくの遊歩道がもったいない。 ・<u>春木川で川遊びが出来ると嬉しい。</u> ・防災のため川沿いをコンクリートにする理由はわかるが、<u>みどりが全くないのは淋しい。</u> ・水質改善のため春木川の堤防を改良しているが、水質をもっと改善して子供がもっと遊べるようにしてほしい。
ため池について	7 件	・<u>ため池の保全が不十分で、悪臭やゴミがたまっている。</u>雑草も管理されていない。 ・久米田池では桜並木の管理ができているので増やすべきだ。 ・久米田池では桜以外にも菖蒲などを植えて<u>人が集う場所</u>にしてほしい。

7. あなたと「みどり」との関わりについて

問 7-1 以下の活動についての関わりを教えてください。《それぞれについて1つだけ○》

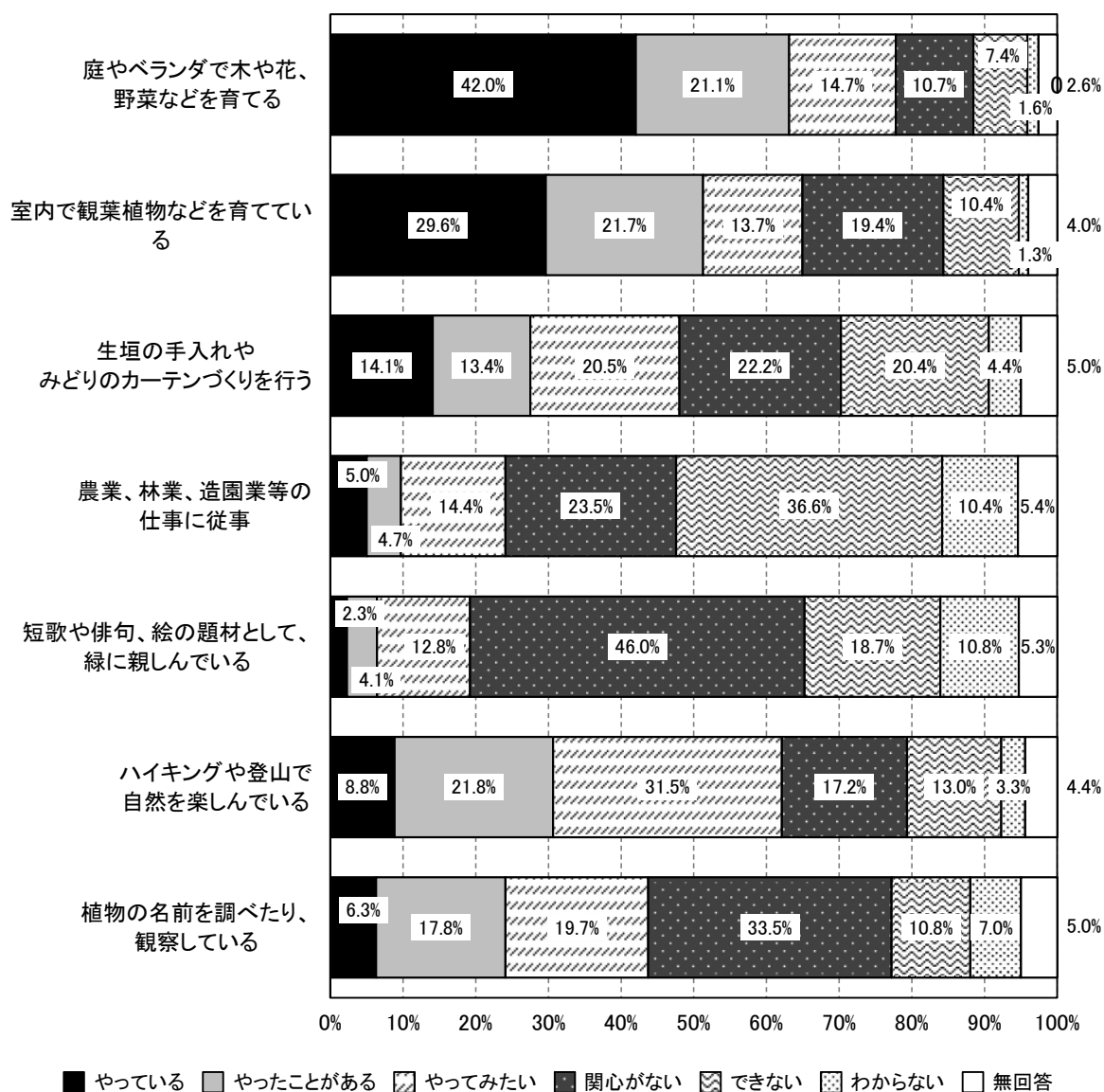
植物を育てたことのある（『庭やベランダで木や花、野菜などを育てる』『室内で観葉植物などを育てている』）割合はそれぞれ50%以上あり、今でも市民の30%（室内）～40%（屋外）で植物を育てていることがわかりました。

また、それぞれ「やってみたい」とする回答も13.7～14.7%あり、きっかけがあれば緑化に取り組む可能性が高い市民（緑化予備軍）もいらっしやいます。

電力消費低減及び排熱環境の抑制につながるほか、前面道路からも見える可能性の高い敷地内の『生垣やみどりのカーテンづくりを行う』をやってみたいとする回答も20.5%となっています。

一方、緑化に関心のない市民も10.7%～22.2%いらっしやるという結果になりました。

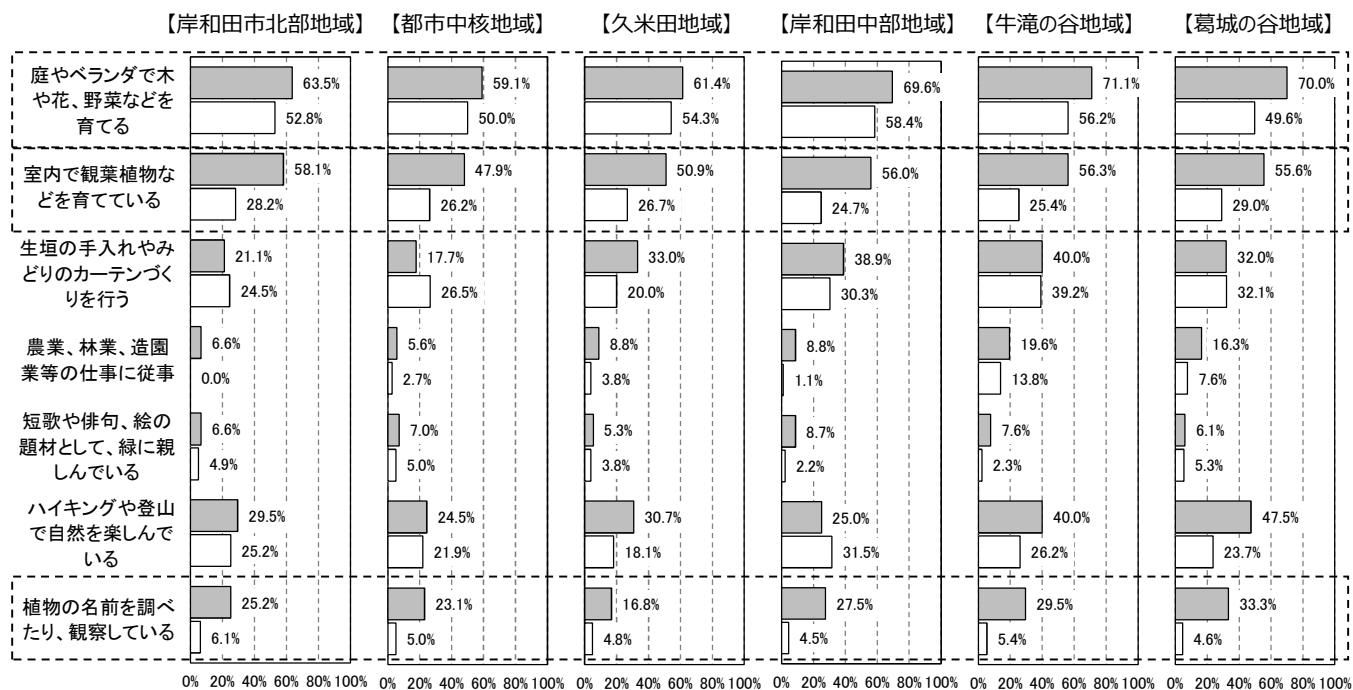
また、現在ハイキングや登山で自然を楽しんでいる（「やっている」）人の割合は8.8%となっています。



【経年変化】

前回調査（平成 10 年実施）と選択肢の表現は異なりますが、表現が近いものについてはその割合を比較したところ、庭や室内でみどりを育てる項目については、前回調査と比べて大きく増加しました。生垣については、変わらないもしくは減少した地域が多く、久米田地域のみ増加していました。

また増加した大半は「やっていた」人にあたるものの、「植物の名前を調べたり、観察している」が全ての地域で大きく増加しました。

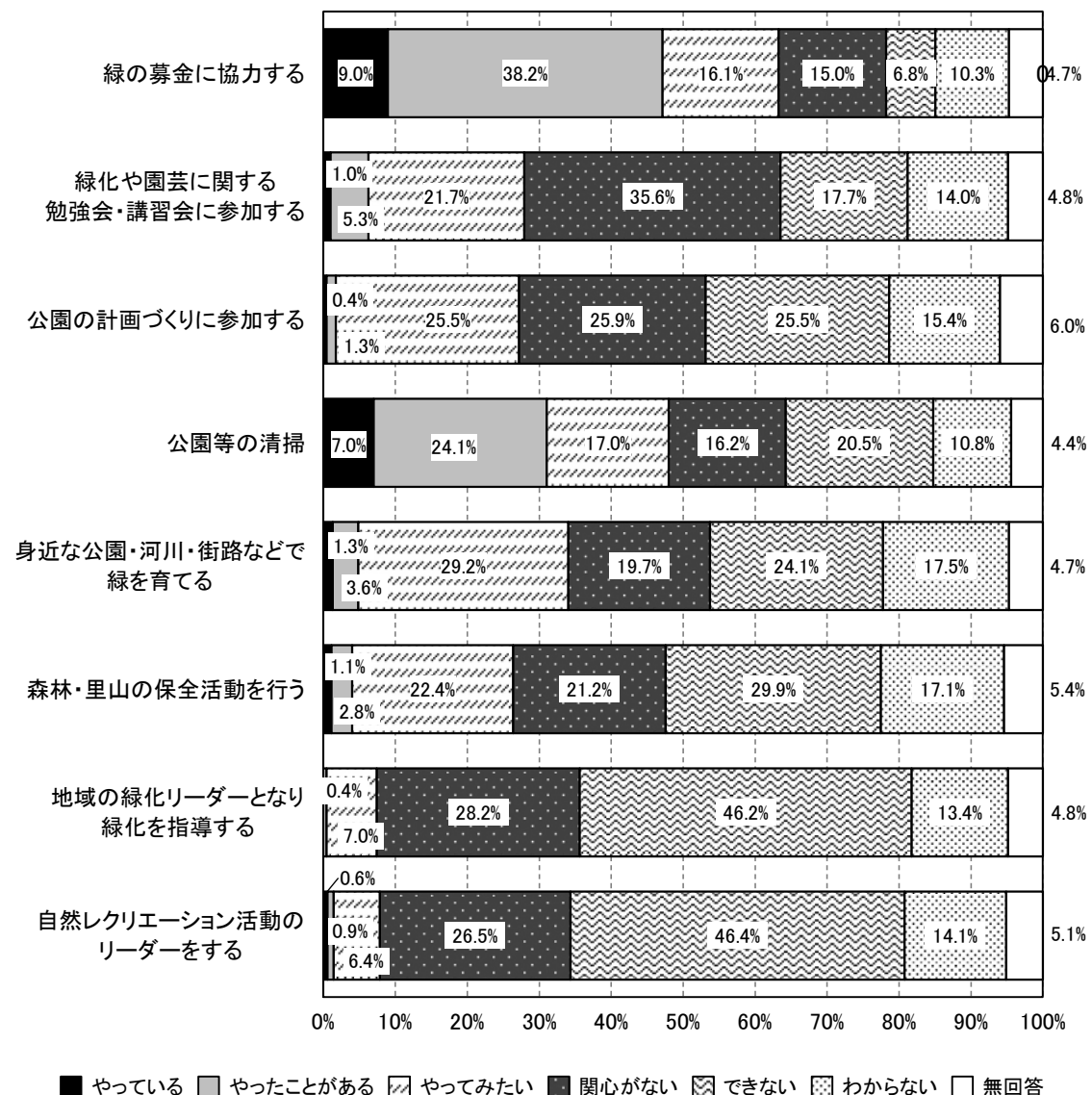


問 7-2 以下の活動についての関わりを教えてください。《それぞれについて1つだけ○》

みどりに関するボランティアの経験（「やっている」「やったことがある」）で最も高かったのは商業施設等で気軽にできる「緑の募金に協力」の47.2%、次いで町内会等の活動の一環で参加する機会があると考えられる「公園等の清掃」の31.1%でした。

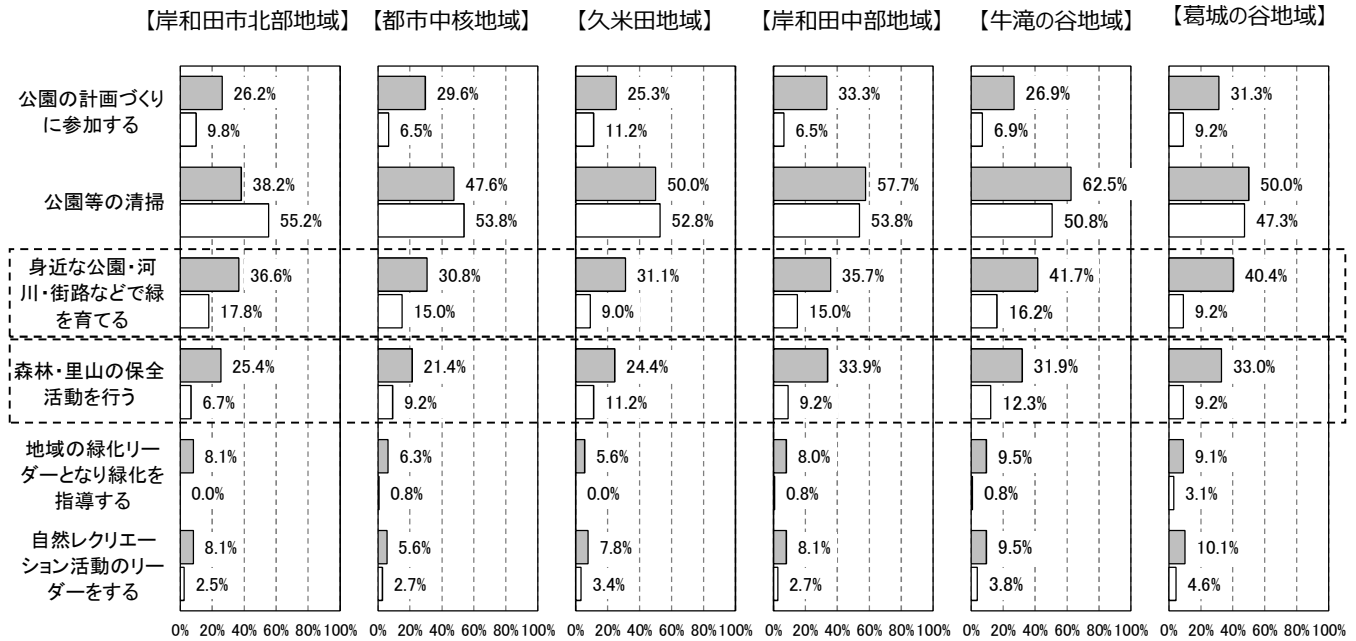
経験している人の割合は5%前後ですが、「やってみたい」ボランティア活動として身近な公園・河川・街路などでみどりを育てる』『公園の計画づくりに参加する』『森林・里山の保全活動を行う』『緑化や園芸に関する勉強会・講習会に参加する』がいずれも20%以上となっていました。やってみたい活動があってもやり方がわからない（情報が不十分）ために、経験できていないことが考えられます。

活動のリーダーになろうという回答（「やっている」「やったことがある」「やってみたい」）は10%未満にとどまっており、活動を牽引することまでは考えていないが、メンバーとしてならば参加してみたいと考えている人の方が多いことがうかがえます。



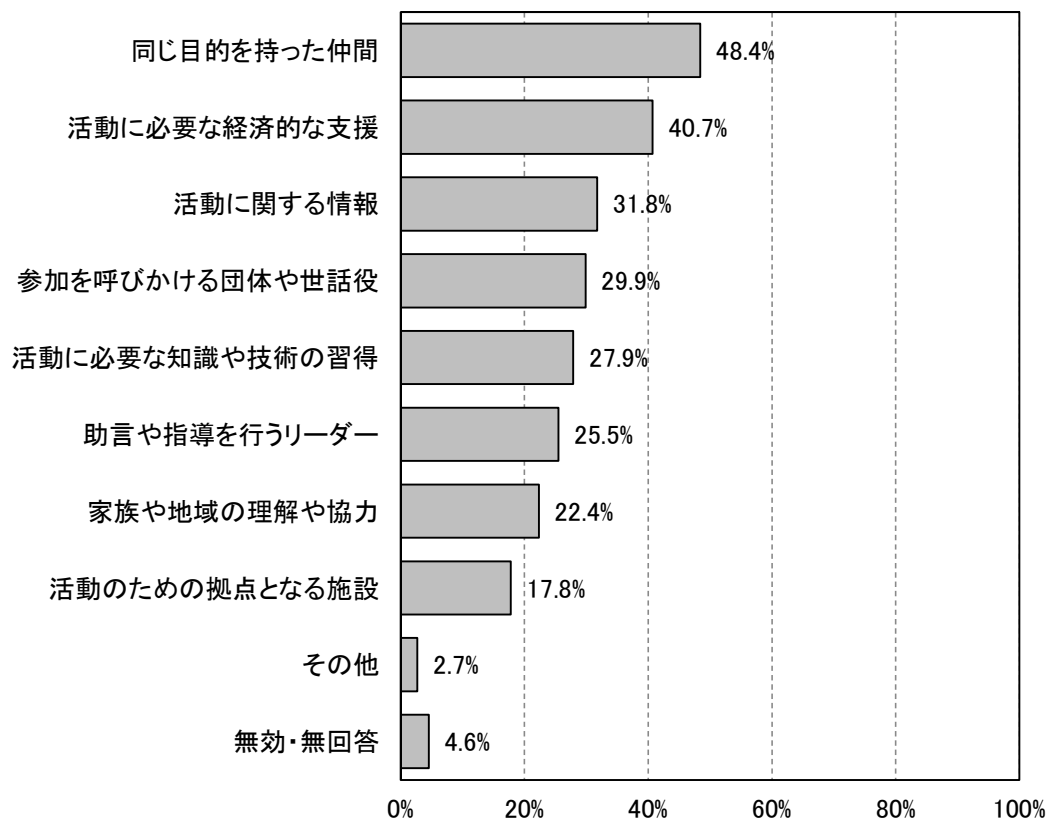
【経年変化】

前回調査（平成 10 年実施）と選択肢の表現は異なりますが、表現が近いものについてはその割合を比較したところ、「身近な公園・河川・街路などで緑を育てる」、「森林・里山の保全活動を行う」の関心は高くなっていました。



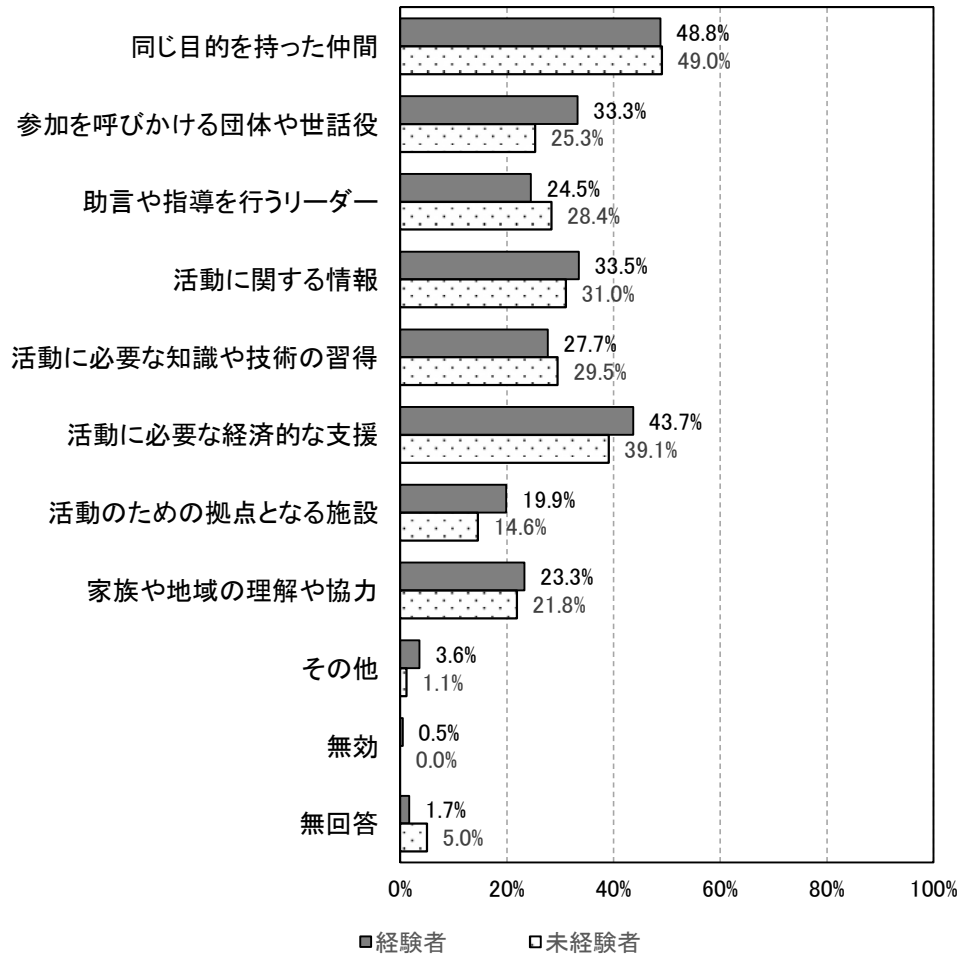
問 7-3 多くの方が、公園や街角での花壇づくり、緑化活動、里山や農地での保全活動などの「みどりのまちづくり」に参加するために必要なことは何だとお考えですか。
《最大3つに〇》

参加するのに必要な事項として、「同じ目的をもった仲間」「参加を呼び掛ける団体や世話役」等のマッチングや、それらも含む「活動に関する情報」が必要との回答が多くみられました。また経済的な支援が必要との回答も 40.7%と高くなっていました。



【経験者との比較】

問 7-2 の項目で「やっている」、「やったことがある」と一つでも回答された方を『経験者』、全ての項目で「やってみたい」、「関心がない」、「できない」と回答された方を『未経験者』として問 7-3 の結果を比較したところ、大きな差は見られませんでした。



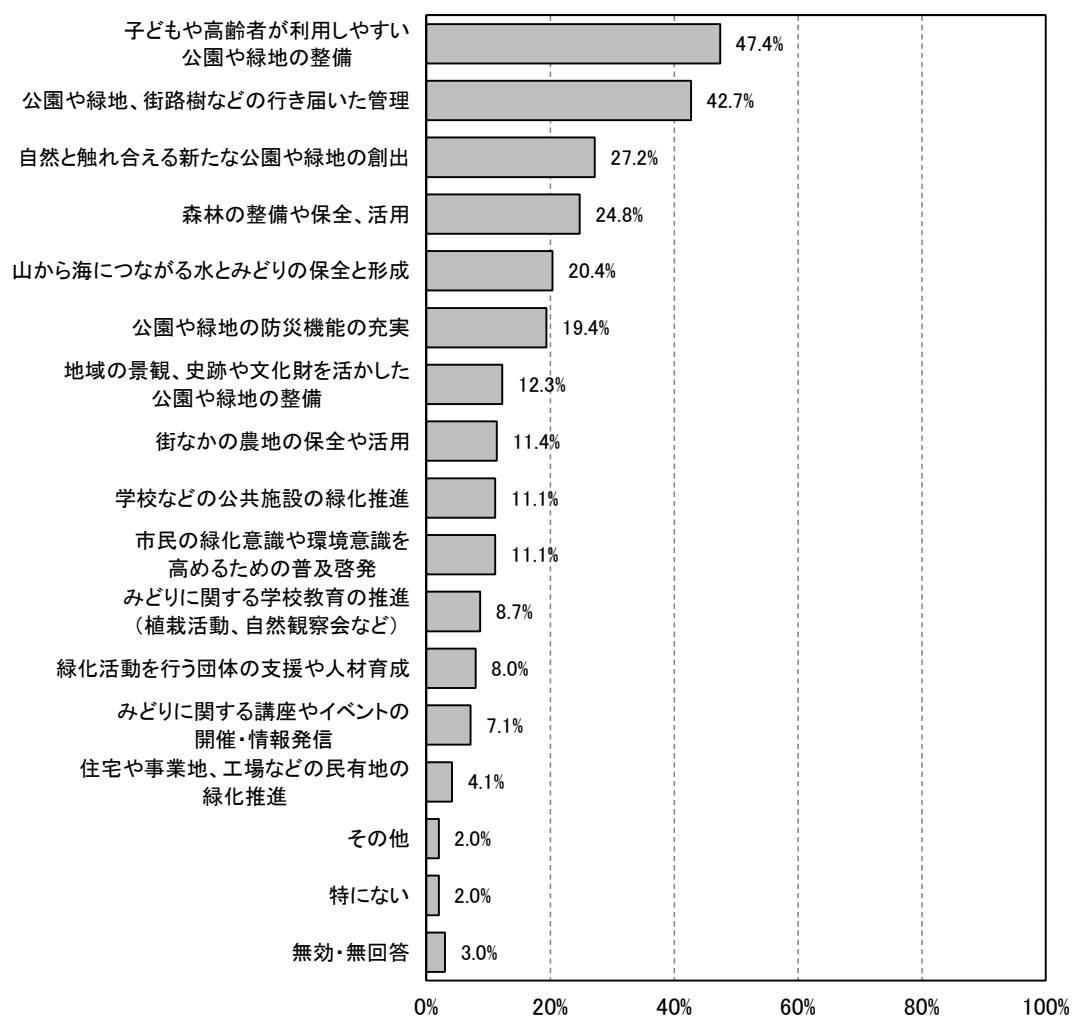
8. あなたと「みどり」との関わりについて

問 8-1 今後、岸和田のまちを「みどり」あふれた環境のよいまちにするために、市に今後どのようなことを望まれますか。《最大3つに○》

「子どもや高齢者が利用しやすい公園や緑地の整備」が 47.4%、「公園や緑地、街路樹などの行き届いた管理」が 42.7%と割合が高くなっており、公園などの身近なみどりに対する整備を希望する回答が多くみられました。また、既存施設の管理の充実を求める回答も多くありました。

「自然と触れ合える新たな公園や緑地の創出」といった新たな公園整備を希望する回答も 27.2%と3番目に高い値となりました。

環境学習に関する事項（「市民の緑化意識や環境意識を高めるための普及啓発」「みどりに関する学校教育の推進」）や支援・イベント開催（「緑化活動を行う団体の支援や人材育成」「みどりに関する講座やイベントの開催・情報発信」）等のソフト対策を希望する回答は少ない結果となりました。



9. 「みどり」に関するご意見やご要望について（自由意見）

自由意見では、公園の管理に対する意見が多く見られました

対 象	件数	代表的な意見
公園について	25 件	・公園の遊具や花壇の<u>メンテナンスを定期的</u>にしてほしい。 ・公園の数を増やしてほしい。 ・公園内の<u>樹木に名称札が充実すれば、樹木も公園も更に親しめそう</u>。 ・大人も子供も遊んだり、くつろいだり出来る公園の整備に期待する。
みどりについて	23 件	・<u>犯罪などが関わらないよう、見はらしの良のみどりを期待する</u>。 ・緑地化モデルとなる幹線を作ってほしい。 ・みどりをもっと増やし、心やすまる場所を作ってほしい。 ・<u>景観・癒しといった点に重きを置いた緑地化を進めれば良いのではないか</u>。
街路樹について	17 件	・街路樹を増やしてほしい。 ・街路樹で<u>季節が感じられ、楽しみのある道路になれば良い</u>。 ・街路樹が伸びて歩道が狭くなっているので、定期管理のサイクルを増やしてほしい。
みどりに関する活動について	16 件	・とても良い事なので、<u>市民として協力したい</u>。 ・田畑や山を利用して体験型施設やイベントを増やしてみどりを身近に感じられる様にしたい。 ・岸和田のみどりを大切に、今後も住みやすい町づくりにできることは協力したい。 ・<u>だんじりの団結力を活かし、みどりも誇れる岸和田市を目指せば良い</u>。
みどりの管理について	12 件	・みどりの量だけではなく<u>きれいな姿を維持することも必要</u>。 ・<u>竹林が増えてみどりが減少</u>するので竹林整備が必要。
みどりに関する情報提供について	10 件	・<u>市の広報誌などにみどりについて記載が少ない</u>ので保全や整備の情報を広めてほしい。 ・岸和田市には<u>観光資源になる史跡、自然がたくさんあるので活用</u>してほしい。
子どもについて	9 件	・<u>子どものために自然と触れ合える環境</u>を作ってあげてほしい。 ・<u>防犯がしっかりした自由な遊び場</u>が必要だと思う。
緑化支援について	7 件	・市から出生祝いであった「<u>苗木の配布</u>」を再開してほしい。 ・家庭緑化として、<u>花や樹木の苗、栽培技術を提供</u>してほしい。
田畑について	6 件	・<u>放置された畑</u>に草がたくさん生えたままになっているのが気にかかる。 ・<u>田畑が住宅化され、昔の景観が失われてさびしい</u>。